

政策名	1グローバルロジスティクスの港		責任者	港営部 海務課長	連携担当課
基本施策名	01国際・国内海上輸送機能の強化				
個別施策名	06船舶の安全かつ円滑な入出港を確保する		連絡先	052-654-7880	
事務事業名	04無線通信事務				

### 1 PLAN(目的・概要)

目的	入出港船舶及び港湾関係者に安全で効率的な船舶航行を促し、円滑な港湾利用に寄与します。	事業期間	昭和26年度～継続
概要	名古屋港入出港船舶と国際VHF無線電話(ポトラジオ)により通信を行い、本船動静情報の入手や水先人、タグボート、係留施設、荷役状況等の情報提供を行います。	根拠法令・要綱等	名古屋港管理組合港湾施設条例及び同施行規則
		実施義務	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無

### 2 DO(実施)

21年度の実施内容 【及び22年度の実施予定】	取り扱う通信の内容は、伊良湖水道通過時刻情報、港外や高潮防波堤の到着予定時刻情報、アンカー位置・時刻情報、水先人乗船情報、タグボート情報、スケジュール情報、係留施設の空き情報、気象情報等です。						
活動指標	年度	19	20	21	22	中間目標 24	備考(指標の算定方法など)
無線通信回数	単位	目標	-	-	-	-	船舶からの呼び出しに应答、又は呼び出しを行った通信の総回数
	回	実績	19,829	17,492	17,992		
事業費	単位	目標					
		実績					
人員 正規職員	単位	千円	7,006	7,116	7,016	7,016	
		人	6.40	6.40	6.40	6.40	
嘱託職員	単位	千円	55,584	56,128	54,925	56,179	
		人	0.00	0.00	0.00	0.00	
事業費・人件費の合計		千円	62,590	63,244	61,941	63,195	

### 3 CHECK(検証)

決算ベース(H21は見込) ← 予算ベース

成果指標	年度	19	20	21	22	中間目標 24	備考(指標の算定方法など)
適正な通信対応回数率	単位	目標	100	100	100	100	適正な通信対応回数÷無線通信回数
	%	実績	100	100	100		
	達成率(%)		100.0	100.0	100.0		
観点	単位	目標					現状の「見える化」
		実績					
	達成率(%)						
必要性	組合関与の必要性	有・無	有・無				その他特記事項
	目的・水準の妥当性	有・無	有・無				
	利用者などの対象者ニーズ	有・無	有・無				
有効性	成果の達成度	有・無	有・無				
	内容の妥当性	有・無	有・無				
効率性	実施主体の妥当性	有・無	有・無				
	受益者負担の適正性	有・無	有・無				
	経済性	有・無	有・無				

### 4 ACTION(取組)

事務事業の方向性	取組の方向性(「継続」・「延伸」事業のみ)			判断の理由
<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 延伸 <input type="checkbox"/> 22年度で終了 <input type="checkbox"/> 休廃止	成果	拡大	維持	適正に業務は行われているが、他港の状況を参考にし、より効率的な対応が必要と思われるため。
		縮小	維持	
今後の取組内容 ・改善策 ・スケジュールの建て直し等		縮小	維持	拡大
		コスト		
		名古屋港無線局のあり方については、平成26年度末を目途に検討しています。		